

## 豊後高田で「方言まるだし弁論大会」

豊後高田市の名物イベント「第29回 大分方言まるだし弁論大会」が開かれました。大分県内各地から出場した弁士10人が、ユーモアあふれる熱弁を披露し、会場を沸かせました。

近所の老夫婦の会話を大分弁で再現し、最優秀賞に輝いた後藤秋生さん（20日、豊後高田市中央公民館）

豊後高田市の名物イベント「第29回 大分方言まるだし弁論大会」（大分合同新聞後援）が20日、市中央公民館であった。県内各地から出場した弁士10人がユーモアあふれる熱弁を披露。熱気に包まれた満席の会場を沸かせた。



# ユーモア満載 ふるさと愛

約500人が来場。千嶋敏夫実行委員長、永松博文市長らが大分弁で「あんただし弁論大会」（大分合同新聞後援）を見に来ちくれたなあ」などとあいさつ。弁士が制限時間の5分間内で、金婚式を迎えた感謝の気持ちや入れ歯をなくした話などを語った。

昭和の町の取材体験を語り、「こん活動を通していろいろなこつ学んだ。教科書に載っちらんこと、いつ

## 沸く満席の会場

（2013年10月21日朝刊11面）

①知っている大分方言は何ですか？ 書き出し、発表しよう。

②大分方言を使って文章（作文）を考えてみよう。

③大分県以外の方言を何か知っていますか。どこの、どういった方言か、発表しよう。

「ええ教わった」などと熱弁を振るった。  
審査の結果、最優秀賞は近所の老夫婦の会話を再現した豊後大野市清川町の後藤秋生さん（85）が受賞。大分弁をよじみなく語り、この日一番の笑いと拍手を呼んだ。後藤さんは「出場は2回目。まさか最優秀賞が取れるとは思わなかつた。夢みたい」と喜んでいた。  
入賞者は次の通り。

▽優秀賞 渡部修士（豊後高田市）  
宇佐市）▽特別賞 松本孝子（中津市）